

平成28年11月17日（木）公益財団法人JKAの補助事業により3,100万円の補助を受け胃胸部併用X線デジタル検診車を導入致しました。

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

地域住民が健診を受診できる体制を整え、疾病の早期発見による早期治療に貢献し、地域住民の健康の保持増進を図ることにより健康長寿への活動を推進する。また、災害時医療体制において、自家発電装置を搭載したX線デジタル検診車を有効に活用し「市民の安全・安心なまちづくり」に貢献ことによって、公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

(URL) <http://med.matsusaka.or.jp/>



●胃胸部併用X線デジタル検診車

平成28年11月17日納車

車両機器総額 67,824,000円 内JKA補助金31,000,000円

車両本体 日野プロフィア カーゴ 全長 10.1m

搭載機器 日立製作所製 胃部集団検診用X線診断装置

日立製作所製 胸部集団検診用X線診断装置

Onan製 自家発電装置 Commercial QD 12KVA(防音タイプ)

胃部X線デジタル撮影装置



胸部X線デジタル撮影装置



●装置の特徴（メリット）

- ・現場で画像が確認でき病態の迅速な対応が可能
- ・受診者への被ばく線量の軽減
- ・フィルム交換が必要ない為、スムーズな検診が可能
- ・再撮りリスクの軽減
- ・比較読影が簡易（過去画像の検索が容易）
- ・管理のし易さ（現像処理や現像機のメンテナンス等の手間はなくなり、フィルムの保管スペースも不要）

●平成28年11月5日 世界津波の日 防災訓練

「世界津波の日」の11月5日に松阪市内大型ショッピングセンターで、松阪市と内閣府が共催する大規模な防災訓練が開催されました。



訓練は南海トラフ地震での津波発生を想定し、伊勢湾沿岸部の近隣住民や国県市の職員や松阪署、松阪広域消防組合や消防団、自衛隊など約400人が訓練に参加しました。

当松阪地区医師会からは、JKA補助事業により導入した胃胸部併用X線デジタル検診車を「災害時応急診療所」として展示しました。

災害によりライフラインが途絶えたなかで災害時医療が実施できるよう、医療機器への電源確保、X線装置の使用を目的として訓練に参加させていただきました。

(具体的には、車内では、X線装置、心電計、血圧計等に使用し外部電源は、放送設備に電力を供給しました)

また、参加者の皆様には、検診車両を見学いただき記念撮影をするご家族もみえ好評でした。

2 予想される事業実施効果

最近の動向として、南勢医療圏における小規模事業所からのニーズが急増しており県内健診機関のうち最も南に位置する当法人の果たす社会的役割が大きいと考える。

今回の最新の胃胸部X線デジタル検診車の導入により、検診受診率の低い過疎地や小規模事業所の要望に対応した検診車両の配車が可能となり、がん検診を含めた健診の受診率向上に取り組むことが可能となった。また、最新のデジタル装置により、画像精度の向上、比較読影のシステム化、再撮防止において効果が期待できる。

災害医療体制においては、松阪地区医師会災害医療対策委員会にて、災害時における実施計画ならびに訓練を胃胸部X線デジタル検診車の活用も含め検討していくこととなっている。

3 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益社団法人松阪地区医師会(マツサカチクイシカイ)

住所： 〒515-0076

三重県松阪市白粉町363番地

代表者： 会長 野呂 純一(ノロ ジュンイチ)

担当部署： 検診・医療部門(ケンシン・イリョウブモン)

担当者名： 総括所長 松井 博(マツイ ヒロシ)

電話番号： 0598-23-7535

FAX： 0598-23-5940

E-mail： h-matsui-kc@poplar.ocn.ne.jp

URL： <http://med.matsusaka.or.jp/>